

アンサンブル・ノマド 第88回定期演奏会

ノマドは語らう vol.2:

Super Pluck Trio

との語らい



©Antti Ignatius

©Heikki Tuuli

©Maki Takagi



2026

11/14 Sat.

13:30 開場 / 14:00 開演

東京オペラシティリサイタルホール

金子仁美: アルコールー 3Dモデルによる音楽 XXI (2026)

Hitomi Kaneko: Alcohol - Composition by 3D Modeling XXI

～池上 敏 基金委嘱 世界初演

ホセ・マヌエル・ロペス・ロペス: 孔雀の羽 (2000)

José Manuel López López: La Plume de Hu

ロッタ・ヴェンナコスキ: とし (2026)

Lotta Wennäkoski: TOKI ～池上 敏 基金委嘱 世界初演

ファン・ホセ・エスラバ: ひとつおもいに 委ね... (2026)

Juan José Eslava: in one laid by... ～池上 敏 基金委嘱 世界初演

守屋祐介: 繭が張る 色が蠢動する (2026)

Yusuke Moriya: Cocoon Tightens - Colors Tease

～池上 敏 基金委嘱 世界初演

※曲目は変更になる場合がございます。

TICKET

【前売】一般 ¥4,000 大学生 ¥2,000 高校生以下 ¥1,000

【当日】一般 ¥4,500 大学生 ¥2,500 高校生以下 ¥1,500

◆ チケット取り扱い ◆

東京オペラシティチケットセンター Tel: 03-5353-9999

アンサンブル・ノマド ウェブサイト <http://www.ensemble-nomad.com/>

(就学前のお小様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

出演者:

Ensemble NOMAD

佐藤 紀雄 (cond/gt) 木ノ脇道元 (fl)

菊地 秀夫 (cl) 花田和加子 (vn)

甲斐 史子 (va) 佐藤 洋嗣 (cb)

中川 賢一 (pf) 宮本 典子 (perc)

Super Pluck Trio

Rody van Gemert (guitar)

Assi Karttunen (harpsichord)

Eija Kankaanranta (kantele)

Guest

迫田 圭 (vn) 竹本 聖子 (vc)

大熊理津子 (perc) 土橋 庸人 (e-gt)

主催: 一般社団法人 アンサンブル・ノマド

助成: 独立行政法人 日本芸術文化振興基金

公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

公益財団法人 朝日新聞文化財団

お問い合わせ キーノート Tel: 0422-44-1165 Mail: keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp

アンサンブル・ノマド 第88回定期演奏会

ノマドは語らう vol.2: **Super Pluck Trio** との 語らい



今回アンサンブル・ノマドと共演して頂くヘルシンキのトリオ、スーパー・ブラックのギタリスト、ロディ・ファン・ヘマートは17年前に広島のエリザベト音楽大学に短期留学し、それ以来日本と活発に音楽上の交流を続けてきました。特にこのトリオを結成した後はフィンランドと日本の作曲家に多くの委嘱を行い、いつかノマドとのコラボレーションを実現したい、とその機会を待っていました。この貴重な機会にフィンランドを代表する国際的な知名度をもつ作曲家、L.ヴェンナコスに委嘱が叶ったのは光栄です。J.M.ロベス・ロベスは30年前に京都山科のヴィラ九条山に滞在し、J.J.エスラバは2011年まで日本に住んだ経験があり、それぞれ日本とノマドのあいだで深い交流を紡いできました。さらに金子仁美はバリ留学時からJ.M.ロベス・ロベスとは親しい友人だったなど、今回のコンサートは奇しくも様々な友情が交差する場となります。若い守屋祐介さんはエミリー・ディキンソンの美しくも神秘的な自然の摂理を謳った詩の世界を、26分に及ぶ作品のなかで余すところなく表現した作品を書いてくださいました。

佐藤 紀雄

Super Pluck Trio

©Antti Ignatius



2018年にロディ・ファン・ヘマート(ギター)、エイヤ・カンカンランタ(カンテレ)、アッシ・カルトゥネン(チェンバロ)によって結成された、ヘルシンキを拠点とする現代音楽アンサンブル。この編成ならではの独特な音色が織りなす共通点と対比にインスピレーションを得たこのトリオは、作曲家との協働を活動の中核に据えており、これまでにフィンランド、日本、スペインの作曲家による30近くの作品を委嘱してきた。

2019年のデビュー以来、フィンランド国内での活動にとどまらず2回にわたる日本ツアーも行ってきた。

(左より)
Assi Karttunen (cemb)
Eija Kankaanranta (kan)
Rody van Gemert (gt)

ENSEMBLE NOMAD



©Maki Takagi

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」、「第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞。海外からの招待も多く、ヨーロッパやアジア、中南米の主要な現代音楽祭に度々登場。今後もフランスやメキシコ、イタリアなどでの公演を予定している。また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、これまで近藤譲、石田秀実、池辺晋一郎、福士則夫などの室内楽作品集CDが発売されている他、藤倉大の「Turtle Totem」、「Diamond Dust」、「Glorious Clouds」にもライブ録音が収録されている。

海外ではエベルト・バスケスの「Bestiario (動物寓話集)」と「Pruebas de vida (生命の証)」、近藤譲とクレイグ・ベップルスのコンピレーションアルバムがリリースされている。2014年にはオリジナル・アルバム「めぐる-Meguru」を発売。2015年夏から秋にかけて発売された「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。

公式ウェブサイト: www.ensemble-nomad.com/

#88 出演者 / Ensemble NOMAD

佐藤紀雄 (cond/gt) 木ノ脇道元 (fl) 菊地秀夫 (cl) 花田和加子 (vn) 甲斐史子 (va)
佐藤洋嗣 (cb) 中川賢一 (pf) 宮本典子 (perc)

Guest



迫田 圭 (vn)



竹本聖子 (vc)



大熊理津子 (perc)



土橋庸人 (e-gt)

東京オペラシティ リサイタルホール

東京都新宿区西新宿 3-20-2
東京オペラシティ B1F
Tel: 03-5353-0788

京王新線「初台駅」
東口下車徒歩3分